

注意



禁止

- ※本製品は屋内専用です。玄関や浴室、屋外では使用しないでください。
- ※防犯効果の必要な場所での使用禁止。本製品は、防犯効果はありません。
- ※電動ドライバーは使用しないでください。各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、作動不良が無いようにしっかり締付けてください。



地球にやさしく 品質の向上へ ISO 14001 9001 川口技研

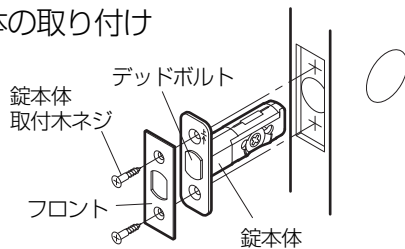
営業本部 / 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048(255)5411 FAX 048(255)8228
ホームページ <http://www.kawaguchigiken.co.jp/>

取付業者の皆様へ

取付後、本書は必ず御施主様または御入居様へお渡しください。

取付手順

①錠本体の取り付け



1. 取付型紙を利用して、扉に彫込みを行ってください。
2. デッドボルトを引っ込めたまま、錠本体の刻印を上にして扉に挿入し、錠本体にフロントを当てがい、錠取付木ネジで固定してください。

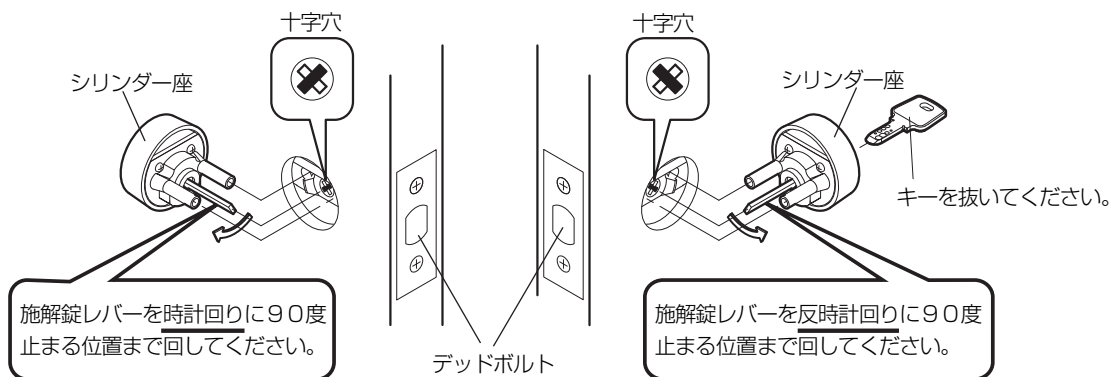
②シリンダー座の取り付け

シリンダー座は、キーを抜いた状態で取り付けを行います。キーを差し込んだ状態で取り付けると、正しく施解錠出来ない場合があります。下図を参考にシリンダー座を取り付けるドア側面に合わせて施解錠レバーを傾け、錠本体の十字穴の黒塗り側に差し込みます。

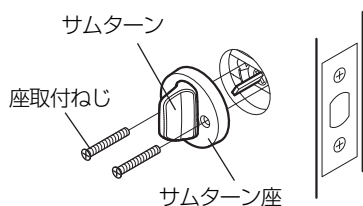
注意 取り付け時の注意

- デッドボルトが引っ込んだ状態で、下図を参考に施解錠レバーの向きに注意して取り付けてください。
- デッドボルトが出ている場合は、十字穴をドライバー等で回してデッドボルトを引っ込めます。
- 施解錠レバーの向きは、シリンダー座を取り付けるドア側面により、施解錠レバーを90度回す向きが異なります。

十字穴の黒塗り側に差し込みます。

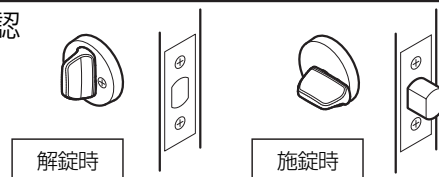


③サムターン座の取り付け



次にシリンダー座の反対側から、サムターン座を取り付けます。サムターンを縦にしてサムターン座を取り付け、付属の座取付ねじで一旦仮止めをしてください。

④動作確認



サムターンで動作確認を行い、正常に作動する事を確認後、サムターン座が変形しないように注意し、しっかりと固定してください。

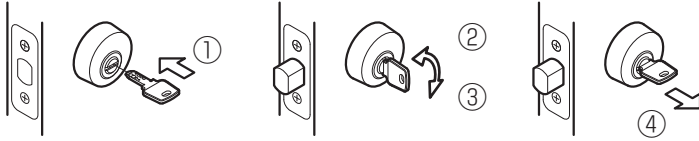
サムターンが動かない場合

シリンダー座を取り外し、施解錠レバーの向きを確認し、取り付けてください。

施錠方法

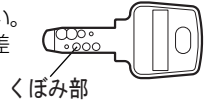
キー溝にキーを奥までしっかり差し込み、下図を参考に施錠・解錠してください。キーの浅差しや、キーを差したままでのご使用は、故障の原因になりますので、ご注意ください。

- ①キーを横にして奥まで差し込み、
 - ②90度回してから、
 - ③90度戻して、
 - ④キーを横の状態ですばります。
- ※解錠の場合は、施錠時と逆方向に回します。



鍵のお手入れ方法

1. キーのくぼみ部に付着した汚れをブラシなどで、きれいに落としてください。
2. キーのくぼみ部に黒鉛（鉛筆の黒芯）を塗り、キーをシリンダーに差し込み、キーの抜き差しや回転を数行ってください。
3. キーの差し込みや回転操作がスムーズになりましたら、付着した黒鉛を拭き取り、衣服などを汚さないように注意してください。市販されている住居用鍵専用の潤滑剤（油の含まれていないパウダースプレー）を使用する場合、ノズル先端をシリンダーに差し込み0.5秒程吹付け、キーで抜き差しや回転を行ってください。油（グリスや合成潤滑油など）は、ほこりを吸着してかえって動きを悪くしますので絶対に使用しないでください。



⚠️ ご使用上の注意

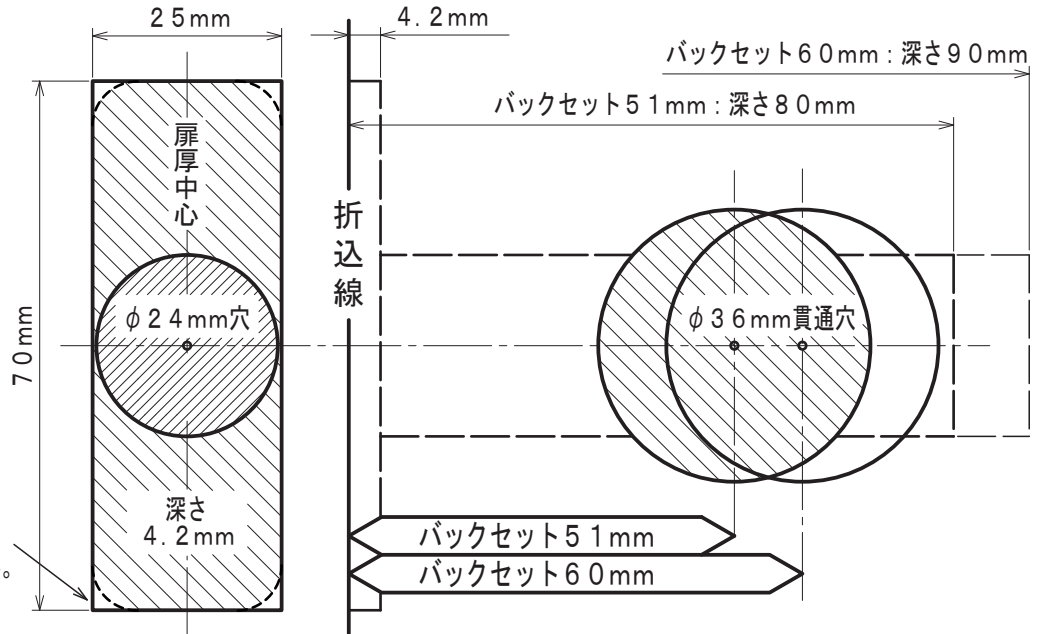
1. ネジがゆるんだ状態で使用していると、扉が開かなくなる重大な事故になる場合があります。ネジの増し締めをお願いします。
2. シリンダー本体やリング等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。

表面のお手入れ方法

1. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いてください。
2. 汚れが目立つときには、水を含ませた柔らかい布で拭いてください。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に少量の中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

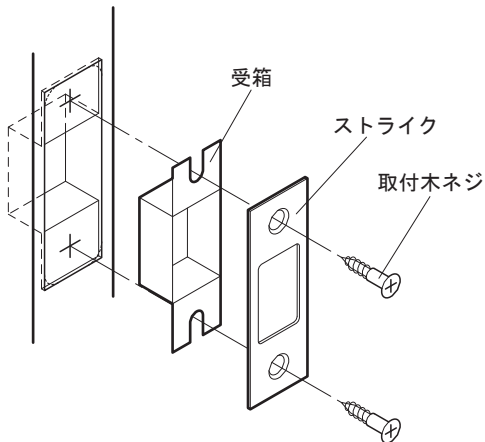
取付型紙

使用可能扉厚
28 ~ 40 mm



フロントのカド形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。

ストライク取付図



ストライクのカド形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。

